

第2回 湖西市総合戦略有識者会議

－ 議 事 録 －

日時：平成27年9月7日（月）14：30～16：30

場所：湖西市健康福祉センター（おぼと）3階研修室

○出席者

	氏名	分野	職業・役職等	出欠
委員	◎竹田 聡	教育	愛知大学 地域政策学部 教授	○
	○竹島 清一	住民代表	湖西市自治会連合会長	○
	伊藤 健	医療	湖西市医師会会長	×
	彦坂 克巳	福祉	特別養護老人ホーム光湖苑 施設長	○
	袴田 雄司	教育	湖西市教育委員会委員	○
	柴田 和利	産業振興	湖西市商工会 事務局長	○
	内山 安弘	産業振興	新居町商工会 事務局長 新居町観光協会 事務局長	○
	彦坂 初保	産業振興	湖西市農業振興協議会 会長	×
	森下 展安	産業振興	プライムアースEV エナジー(株) 経営管理部主査兼経営企画グループ長	○
	高柳 陽子	子育て	なぎさ保育園 園長	○
	高林 宏明	地域公共交通	遠州鉄道(株) 運輸事業部長	○
	飯田 宣子	交流・ 移住促進	湖西市教育委員会委員 NPO 法人新居まちネット 理事	○
	渡辺 真一	金融	静岡銀行 湖西支店長	○
	安形 秀幸	金融	浜松信用金庫 法人営業部 地方創生戦略推進センター長	○
	野末 ゆかり	労働	湖西地区 労働者福祉協議会 事務局次長 静岡県労働金庫 湖西支店長	○
	日比野 雅彦	報道	中日新聞東海本社 報道部長	○
	飯田 勝義	行政	湖西市企画部長	○
	高柳 益彦	行政	湖西市健康福祉部長	○
	青島 一郎	行政	湖西市市民経済部長	○
事務局	鈴木 徹	湖西市 企画政策課 課長	○	
	小倉 英昭	湖西市 企画政策課 課長代理	○	
	岡部 雅史	湖西市 企画政策課 主任	○	
コンサル タント	木村 裕蔵	玉野総合コンサルタント(株) 静岡支店	○	
	平田 雅也		○	

◎：委員長 ○：副委員長

1. 開 会

2. 委員長あいさつ（竹田委員長）

前回6月22日でしたので、2か月半経って2回目ということになります。この間、8月4

日に、政府からまち・ひと・しごと創生本部の特に新型交付金に関する、予算規模に対しての基本方針が公表されたりしまして、お手元の資料ですが、報道資料があると思います。そのほか、本市におきましても3つのアンケート調査とあと転出された方に対する今年の3月から7月までに転出された方のアンケート調査もこの間行っていただきました。これをまとめたものも今日は報告していただく予定です。そのほか静岡県が総合戦略の骨子を発表しておりまして、これらを踏まえながら湖西市において総合戦略を作っていくということになりますので、よろしくをお願いします。

3. 議事

(1) 新型交付金について

<事務局（小倉課長代理）>

説明（資料1）

（質疑・意見交換）

特になし。

(2) 人口ビジョン・アンケート調査結果について

<コンサルタント（平田）>

説明（資料2、資料3、資料3（参考））

<森下委員>

説明（プライムアース EV エナジーでのアンケート結果報告）

- ・対象者は、管理・間接系部署の50名強。
- ・社員の居住地割合は、湖西市内：20%。アンケート回答者では、湖西市内：25%、豊橋市：45%、浜松市：25%、その他：5%。その他では、掛川市、袋井市。電車通勤者では、名古屋市という方もいる。
- ・通勤時間では、2時間以内であれば、名古屋・大阪・東京からの転勤者にとっては通勤圏であり、近くに住むメリットを感じていない人は多い。
- ・市内に住んでいる人は、単身寮や会社借上のアパート：33%。
- ・市内在住で市内に住んでいる理由は、会社に近い、実家があるが多い。
- ・湖西市住民からみた不満は、1/3が養鶏場などからの悪臭である。次いで交通の便が悪い。次いで、生活する環境。
- ・交通の便が悪いに対する具体的な回答は、車がないとどこにも行けない（公共交通機関がない）。JRの最終電車が早い。新幹線の駅まで乗り継ぎが必要。
- ・コーちゃんバスについては、80%：利用したことがない。知らないという人もいる（市内在住）。
- ・湖西市外で住む理由は、生活環境が整っている（スーパー、コンビニ、病院、娯楽施設など）、次いで実家がある。次いで、交通の便が湖西市より良い。会社から一定の距離があるという回答もある。賃料が比較的安いというものもあり、田原市等からの通勤者ではないか。通勤距離より、生活環境、交通の便を優先されている。
- ・記述式では、総合病院が近くにあるという意見や、実家が遠い方では、空港や新幹線の駅に近い方が良いという意見もある。

- ・交通面で他市を選択した人は、新幹線の駅がある、車がなくても生活できる環境がある、終電が遅い、タクシーを利用しても比較的安く帰ることができるなど。平日の距離よりも出張時、旅行、子どもの通学・塾など、総合的な交通の便を考えられている。
- ・今後湖西市に住む上での課題は、養鶏場がらみ 40% くらいの回答、その次の交通の便、生活の環境整備等、若者の集える場所が無いといったことがあげられている。
- ・湖西市に住むうえでの交通面での課題、車がないと不便、これは住まわれてる方も同じなので、車なしの人をターゲットにするのか、若者も最近は車離れということで、弊社でもそういった課題もあるかと思うが、車を持っていることが前提にするのかそうでないのかということも考えるところかと思う。
- ・湖西市外に住んでいる人で、自分がではなくて一般的に湖西住民を増やすうえでの改善項目は何ですかということでは、やはり養鶏場の臭いが一番で 30% くらいの回答、それから交通の便、生活環境整備、一部地震対策に強化というところがある。自分のケースと一般の方対象のケースの大きな差はないと感じる。
- ・交通の便でも、愛知県二川よりも西のエリアでは、名古屋までの JR の割引切符といったものが充実しているという回答として多い。名古屋に行きやすいかどうかということでは、豊橋と新所原は駅 2 つ離れているだけだが差がある。JR の最終電車を遅くする、豊橋・浜松からの深夜バスの運行のような具体的な案もある。駅前に割安の駐車場を作って市の住民は割引にするといった具体的な案もあった。深夜の移動の件、大都市への移動のしやすさを求めている。
- ・まとめとして、湖西に住んでいる以外の方は 8 割で多いので住民は少数派だが、そのなかでも寮があるから、実家があるというある一定の理由で住んでいる人がいるということもわかってきた。
- ・改善の方向性について、湖西住民とか湖西以外に選択している人に、同じ通じるところがある。先程の悪臭の課題が非常に大きいとアンケート結果で分かる。交通の便で深夜等の通勤以外の移動に関する件で、出張等長距離の移動というところの便利さを取っているケースがある。子育ての環境では、塾とかスーパーとかの買い物の環境をとられて、奥さんと子どもは便利な所に住んで、旦那は頑張って通勤するという人も多い。
- ・県を超えて、豊橋市とのコラボレーションする案といったものもアイデアの中に出てくるかと思う。改善の参考にしたらどうかと思います。以上です。

(質疑・意見交換)

<青島委員>

- ・今の報告ですが、いつのアンケートでしょうか？

<森下委員>

- ・(アンケートを) とったのは、前回の会議が終わってからですので、7月。6月22日にこの場でそういったご意見があったものですから、人事に確認して、確かに少ないと。じゃあ、その理由は小規模でも確認してみようかということで、社内でも

ったものでございます。

- ・年代としては比較的若いところ中心でとっております。30歳平均位の若い方を中心にとっております。

<青島委員>

- ・会社でも匂いますか？

<森下委員>

- ・私はそんなに感じないですけど、風向きとかで雨の後とかそういったタイミングによって窓を開けたりすると。

<青島委員>

- ・以前には近くに養鶏場が確かにあったので。今はもう廃業されているもんですから。ですから、そのアンケートがその当時のものかと思ったものですから。

<森下委員>

- ・どういうふうなロケーションでそういうところがあるのか把握していないので、会社の近くでというよりは住まいを探すところというところかもしれません。

<委員長>

- ・今の悪臭に対しては、図15のところ、湖西市に住みにくいという理由で複数回答で34%ですから、住みにくいと答えた人の3人に1人が悪臭を挙げている。これは7月末から8月にかけてのアンケートですね。やっぱりこれ自体が課題ですね。

<日比野委員>

- ・資料3の5ページ目ですね推計結果という、実際には今2015年なんですけどね、現状の数字で3つの折れ線グラフの重ねるとどれに近いでしょうか？
- ・質問を変えます。今の湖西市の人口は何人ですか？

<事務局>

- ・直近で、61,000人くらいだと思います。住民基本台帳で、今手元の資料ですと61,000人ですね。

<森下委員>

- ・2010年から1,000人くらい増えている。4年で。図1の2,010年の60,107人から5年で減ってまた増えている。

<事務局>

- ・5ページの2010年60,107人というのは国勢調査の数字なので、実際の住民基本台帳上の数字とは若干違いはどうしても出てきます。住民基本台帳上は61,000人位ですね。

<日比野委員>

- ・そんなに違うものですか？

<事務局>

- ・そうですね、違いますね。どうしても。

<森下委員>

- ・どのラインに乗っているかを見たいので、2010年と2014年があればわかるのではないかな。

<日比野委員>

- ・細かいことは結構ですけど、現状に即した計画をつくらないと全く意味のないものになってしまうので、増えてるなら増えてるで、減っているなら減っているで、計画上ではどうなっているかが重要だと思います。国勢調査は今年もありますけれども。

<委員長>

- ・今まさに、国勢調査やっていますけれども、2015年度は来年にならないと発表しないですが、住民基本台帳の方が毎年出てくるですよ。2010年をベースに見た時に、国勢調査と住民基本台帳で、そんなにズレてるんですかね。

<事務局>

- ・手元の資料で、2010年で住民基本台帳上で62,800人位です。

<委員長>

- ・2014年が61,000人だとしても別に増えたということではないですね。

<森下委員>

- ・そうですね。極めて青に近いイメージになりますね。

<日比野委員>

- ・あまり国のパターンに寄らなくても、現状をどのように捉えられているのかと。

<森下委員>

- ・図3の2002年から2003年の特殊出生率がドーンと落ちているのは何か理由があるんですか？

<コンサルタント>

- ・これは5年ごとの数字で、1998年から2002年までの5年間の数値、2003年から2007年までの数値というふうに考えてください。
- ・これは統計上5年間ごとしか公表されていないものですから、県、全国については数字が出ていますが、市に関しましては5年ごとということで、ここで急に落ちているように見えますけれども、平均ということでお願いします。

<竹島委員>

- ・資料3の中で見ますと、浜松市と豊橋市からの通勤者が非常に多いということで、やはり人口のグラフのようではいかんと思うんですけども、やはり人口が減っていくというのは、あまりいい傾向ではないですから、特に大きな会社が沢山ある、と会議の中でよく言うんですけども、実態としては、浜松市、豊橋市からの通勤者が非常に多いということで、企業さんでは寮を持っているところがたくさんおられるというようなことで、私が現役の時にもかなりの方がおられました。
- ・特に湖西市に住まれる方は、逆に言うと市内から通勤してくる方は親元から通ってくるという人たちが殆どではないかなという感じがしますが、数字的にはつかんでないですけども、そういうことは、攻めるところは、寮生の方をいかに取り込んでいくかというところで、これからは逆に寮生が結婚をして家を持って、アパートに入る、借家に入るというのも1つの手だと思うんですけども、そういうところを安価の土地を提供していく為には何をしたらいいのかということも出てく

と思うんですけれども、そこらへんのところを是非これから施策の中に取り込んでいただいて、攻めるところがあるというふうに思うので、そんな感じでお願いしたいなと思うので考えていただけたらと思います。

(3) 総合戦略について

<事務局（岡部主任）>

説明（資料 2、資料 4-1、資料 4-2）

(ワークショップ)

<コンサルタント（平田）>

ワークショップの進め方について説明（資料 5）

(ワークショップで出された意見)

別紙参照

(ワークショップで出された意見の総括（竹田委員長）)

色々出していただきまして、ここでまた繰り返すのもあれですので、気づいた点を幾つかコメントしたいと思います。資料の 4-1 のところで前回出していただいた問題点とか課題等に対して右側の列がそれに対して今行っている、或いは昨年度から始めた事業案が並んでいるわけですが、例えば 1 番のところの 1 の項目のところには 57 番で畜産臭気対策事業に補助金というのは、1 番とここに位置づけられていますけれども、2 番の住宅供給の問題というところの、あんまりここは項目があがっていないところですが、悪臭対策などはこちらにも位置づけることが可能だと思うんですね。ですから再掲という形でいくつかの項目が出ていますので、今一度、今ある既存の事業など見直してみることによって 1 番であると同時に 2 番の対策にもなるとか、そういうふうに位置づけられるようなものであれば、そういうふうな形で再掲という形で位置づけるということも大事なかなと思いました。

あと、お話を聞かせていただいて、例えば 2 番の 1 番最後のところに出てくる 50 の勤労者住宅建設資金利子補給金というのは、もうすでに行われていて、銀行さん等では非常にセールスポイントになるという、湖西市に住むうえでのセールスポイントになるという住宅を建てるうえのセールスポイントになるということでしたが、どのくらい周知されているのかというのが、まだ良くわからないところがありますので、もっとPRみたいなことも徹底していくようなことも大事なかなと思います。今行っているものでもPRのようなことも大事なんじゃないかというふうに思いました。

あとは、産科とか保育環境とか学童保育とかが必要だとか。Uターン就職してくる人が必要だとかそういう話もありました。国勢調査を分析したものの、市に最初に報告してもらったものによりますと、2000 年以降はUターン就職者が減少傾向にあるとかですね、或いは資料 3 の上の方のところで進学、就職でいったん出て行ったりするとか、あと持家購入で男性がドーンと出ていくとか、こういうことがデータから読み取れるという報告がありました。Uターン就職が減らない様にしていくとか、結婚後市外に転出というのが、ずっと続いているわけですが、それが 2000 年以降は減少傾向にあるという報告もありましたので、こういうことを、より積極的に注目していくことが大事なのかなと思いました。

いずれにしても出されていた課題に対して、今行っている事業とか、或いは昨年からはじめた新規で始めた事業だとかを、もう 1 回位置づけなおして、こちらでも位置づけられるんじゃないかとい

うものは、そういうふうな形でまた位置づけていただけたらというふうに思います。以上です。

4. 連絡事項

次回の会議の日程について、11月9日（月）とする。

5. 閉 会

（以上）